

第40号 2020年3月

# 花しょうぶ



熱田鯨城会たより



## 目次

- 熱田鯨城会 30 周年を迎えて ..... 3
- 熱田鯨城会のあゆみによせて ..... 4~5
- 趣味の作品展 ..... 6~13
- 初めての熱田生涯学習祭り ..... 14
- 熱田区区民まつり ..... 15
- 堀川(名古屋港)の水質向上をめざして..... 16~17
- 木曾川鵜飼い ..... 18
- こころの絆創膏キャンペーン  
    & 鶴舞公園クリーンキャンペーンに参加して ..... 19
- 第 18 回 鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会の報告 ..... 20
- 令和元年度鯨城会公開講座(一休と尺八) ..... 21
- 第 3 回ボッチャ交流会  
    & “ボッチャ始めまして”の 3 人組で優勝 ..... 22
- 第 2 回 16 区フェスティバル ..... 23
- 番割観音巡り ..... 24~25
- 堀川清掃大作戦 & 福祉協議会へ寄付金・雑巾・タオル寄贈 ..... 26
- 白鳥庭園ボランティアガイド募集  
    & 大宝学区自主クリーンキャンペーン ..... 27
- 白鳥庭園を歩く ..... 28~29
- 編集後記 ..... 30



熱田鯨城会 30 周年記念 賀城園にて

## 熱田鯨城会 30 周年を迎えて

熱田鯨城会会長 寺田 美代子



平成元年(1989年)6月24日、会員23名にて熱田鯨城会が発足し、今年、令和元年(2019年)に30周年を迎えることになりました。

『井戸水の美味しさを味わうとき、人はその井戸を掘った人のことを思い出す。』

これまで18代の会長と共に築いてこられた、会員ひとりひとりの「生きがい」づくりと「地域活性化の推進者」としてご活躍されましたことに、敬意を表します。

また、本年もすでに種々な行事や諸活動に、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも皆様のお知恵と力をお貸しくさせていただきますようお願いいたします。

### 熱田鯨城会 30 周年に想う

熱田鯨城会発足30周年記念講演会が12月13日(金)10時から賀城園で開催されました。この日は好天に恵まれて、68名の参加者が大広間に集合。熱田鯨城会の会員の他に、来賓の方々も18名おいでになり盛大に始められました。



会は2部構成で、第1部は30分のセレモニーのあと約1時間にわたって、旭堂鱗林さんの講演が行われました。

上方(大阪)講談界の名門である旭堂一門として鍛えられた凛とした声が大広間のすみずみまで響きわたり、迫力満点で聞く人を圧倒する力強さに溢れているようでした。その上くだけた調子でユーモアを交えた話しぶりは大きな笑い声と拍手を誘い、さしもの大広間も熱気に満ちて、参加者全員が若さを取り戻したかのような生き生きした明るい笑顔で時のたつのも忘れるほどでした。

話題は将棋界の新進気鋭の若手実力者として脚光を浴びる地元棋士藤井聡太7段にも及び、この日の会場である賀城園と同7段とは大変ゆかりの深い方というような裏話もいろいろと語られました。藤井7段は4月の聖火ランナーとしても候補に挙がっていると新聞等で伝えられています。



引き続き第2部の懇親会は会食を進めるうちに、アルコールの力も加わって益々盛り上がり合唱あり、カラオケあり、踊りあり、何でもありと、笑い声の絶え間もなく陽気で賑やかな楽しさ一杯の懇親会兼忘年会となりました。いま思い出しても楽しくなるような最高の出来栄えで参加された皆さんも喜んでみえたと思います。

会長はじめスタッフの皆さんのここに至るまでのご苦勞は言葉に尽くせな

いほどのものでは無かったかとお察し申し上げ、心より感謝申し上げます。

この日の盛況ぶりを見て、30年前に2期生の村田直之氏(後に初代会長)の呼びかけに応じて他区に先駆けて最初に発足し23名でスタートした当会を、100名前後にまで大きく育ててくださった多くの先人の皆様のご努力に厚くお礼申し上げます。



20期 美術 中井 史郎





## 熱田鯨城会のあゆみによせて

熱田鯨城会は今年30周年を迎え、会員の皆様、全員に一言コメントを募集いたしました。ご投稿いただきました皆様のお言葉を掲載させていただきます。

### 20期 美術学科 中井 史郎

熱田鯨城会では様々な分野で活躍された多くの方々との、素晴らしい出会いに恵まれ大変喜んでます。入会以来楽しかった十数年、教えられることも多く皆様に厚く御礼申し上げます。今後とも永続発展を願っています。

### 25期 健康学科 木村 柳輔

このたび30周年を迎えられ、こころからお祝いを申し上げます。先人の方々のご苦勞、努力の積み重ねによって築かれたものと思います。今後も皆様のご協力を得て、熱田鯨城会が楽しい会となるよう希望いたします。

### 26期 文化A学科 高木 治夫

入会7年を楽しく過ごして  
同期黒一点の為、会長を務める羽目に。皆様に支えられながら、①「井戸端の会」を提唱、②道路清掃「雁道線」を申請、増収を確保し無事退任。翌年に倍増した同好会を含め諸行事に参加しenjoyさせて貰っている。感謝!!

### 27期 健康学科 下木 要人

熱田鯨城会に関わり、5年が経過しました。  
私にとって、塩梅の良い居場所を提供して頂いています。  
感謝しております。。。。。。。

### 29期 園芸学科 伊藤 正

「遊び」やボランティアの活動を通して、同じ区内の方々との輪が広がり、また、今まで馴染みのなかった区内の古墳や番割観音など、足元の来し方にも触れることができました。次の方々にもうまく引き継げたらと思います。

### 29期 生活A学科 玉利 繼男

熱田鯨城の皆様と共に生涯学習を意識し、自己管理、啓発を図り、住みよく生きがいのある地域社会づくりに求められるボランティア活動に、無理のないマイペースの活動スタイルで取り組み、歩み続けて参りたい。







### 30期 国際B学科 寺田 美代子

30周年の記念の年に会長を引き受けることになり、大変戸惑いました。その後も「あの時はああすればよかった。」と後悔の毎日でした。でもあるとき「とりあえずやってみようと踏み出すと、さまざまな体験から私もまだ、成長できるかもしれない。」と思うようになりました。

### 30期 文化A学科 山本 進太郎

発足より今日を迎えて30周年、私にとっては名古屋に55年、熱田区は25年、ここ歴史ある地に住みついてこの地域ならではの多くのことを知り、多くの先輩たちの活躍の成果を目のあたりしているこのことは貴重な財産であると思っています。この精神を受け継いで後の40周年、50周年へとなるのでしょうか。

### 30期 美術学科 磯部 真弓

足跡。30間続いた足音。熱田の杜で樹々を仰ぎ、共に手を携えて歩いてきた仲間達。時には聳える山を登り、時には眼下に深い谷。怯まず踏ん張った先輩方。故に今がある。明日へ向かえる。

### 31期 文化A学科 岡山 登美枝

30周年もの歴史があることに感銘しました。

### 31期 陶芸学科 九澤 康雄

平成と共に歩んだ熱田鯨城会の絆の30年。令和と歩む熱田鯨城会の絆の歴史を、これからも会員皆様と一緒に歩んでいけることを願います。

### 31期 地域B学科 九澤 まち子

おめでとうございます。これからも会員一同ガンバロー！！

### 31期 地域A学科 村瀬 順子

30年の歩みの中で、先輩方の思いを受け継ぎながら、役員の負担を減らし、これからも皆様のご協力あつての熱田鯨城会が続いていくことを願っています。16区フェスティバル優勝の団結力を忘れないで！

### 32期 環境学科 伊藤 明

お仲間に入れていただいて1年足らずですが、みなさんのお名前をなかなか覚えられず申し訳なく思います。これからも鯨城会の活動に出来るだけ参加して、余生をより健康に過ごせたらと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

### 32期 国際A学科 佐久間 眞

「30周年に思う」

熱田鯨城会に入会したばかりですが、日頃の清掃ボランティアや16区フェスなどに参加して、諸先輩方のお人柄、ホスピタリティ溢れる活動に接し、当会で永年培われたスピリットの存在、素晴らしさを実感しております。



## 趣味の作品展

令和元年10月5日(土)、6日(日)熱田生涯学習センターにて開催。  
作品56点が出品されました。どれも力作揃いで、趣味の域を超える才能で、見ごたえのある作品展になりました。

実演コーナーでは手作り甲冑の試着、「土鈴・絵馬の絵付け」も盛況で、ご寄付いただいた募金は熱田社会福祉協議会へ寄付しました。

15区鯨城会関係者をはじめ300名を超える方々にご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じました。  
皆様の作品をご紹介します。

熱田鯨城会 会員(敬称略・順不同)



社・no・秋

20期 環境服部 繁一



社・no・秋



水中花

24期 文化B 藤堂 真司人

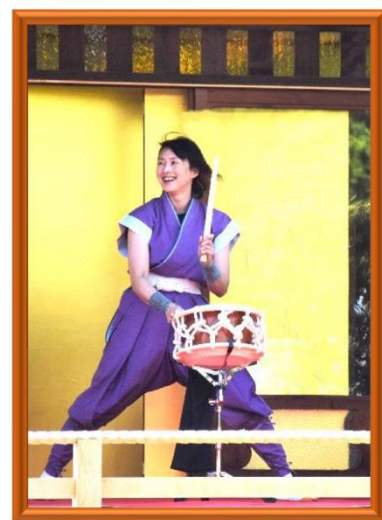


宙に咲く

24期 文化B 藤堂 真司人



北山友禅菊(京都府久多)



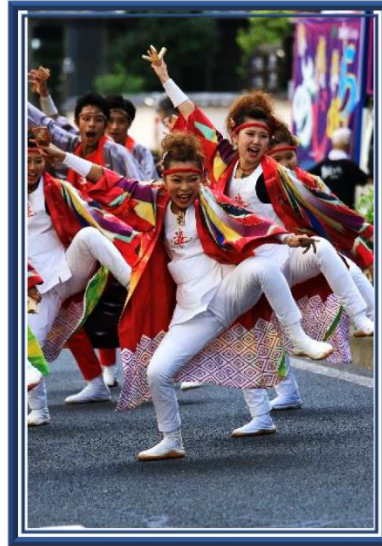
薫風

29期 園芸 伊藤 正





夏の日の思い出  
29期 園芸 伊藤 正



遊躍

29期 生活A 玉利 繼男



採光



白の静寂

32期 地域B 橋本 芳樹



秋のざわめき



シクラメン

24期 地域 柴田 泰子



秋始まる

32期 環境 伊藤 明



グランプラス



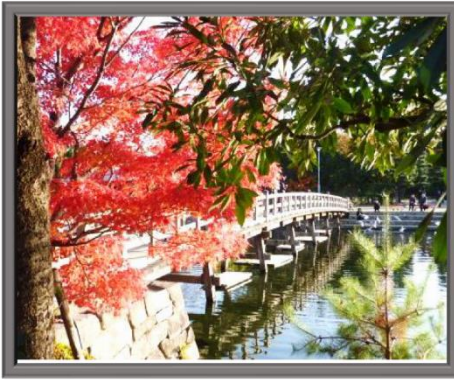
花しょうぶ

30期 文化A 山本 進太郎





「応援団長走る」  
応援合戦の一コマ



「白鳥公園一秋」  
紅葉と出会橋



ポインセチア

30期 文化A 山本 進太郎

32期 国際A 佐久間 眞



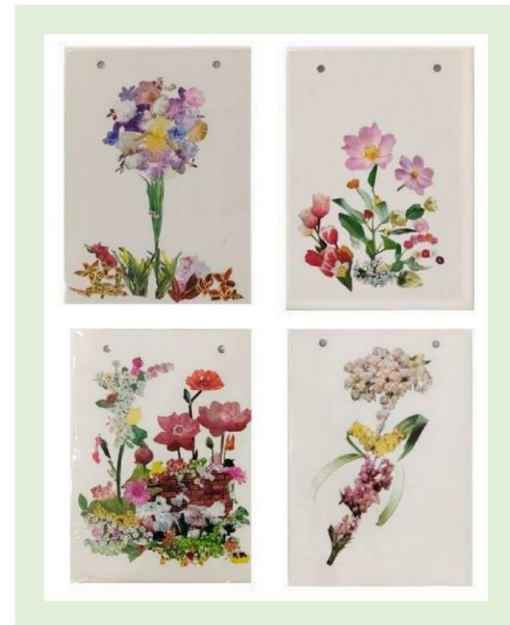
ある日の堀川  
24期 美術 竹内 宏之



紫陽花  
24期 地域 柴田 泰子



溪流  
30期 美術 磯部 真弓



花  
31期 文化A 岡山 登美枝



梅

18期 文化B 小島 一之



山水 (もみ紙)



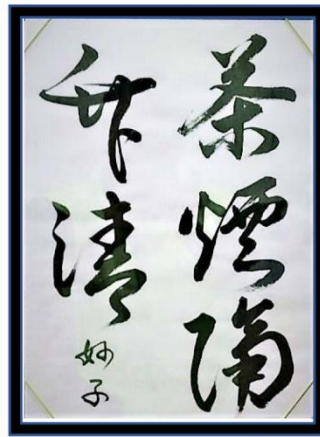
菊

31期 地域B 九澤 まち子



四字句

24期 陶芸 後藤 秀光



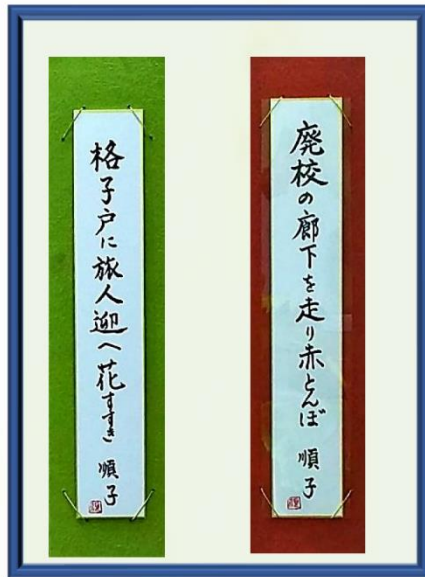
草書

29期 生活A 小池 妙子



漢文

29期 生活A 小池 妙子



俳句 2点

31期 地域A 村瀬 順子





五人衆

17期 文化A 山口 登志



わらべ



「春雲」

30期 美術 磯部 真弓



ナムちゃんの四季

24期 健康 尾崎 雅子



花器

28期 陶芸 松浦 啓一



ガクアジサイ

24期 美術 竹内 宏之



徳利とお猪口

31期 陶芸 九澤 康雄



花瓶

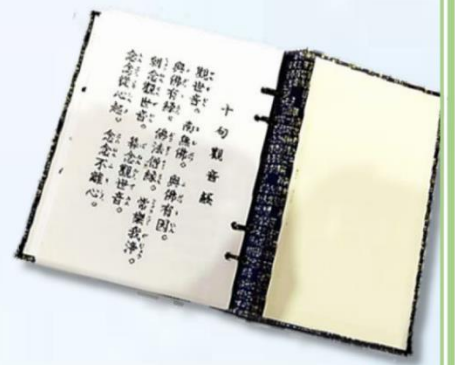
31期 陶芸 梶原 典子



大皿 1

大皿 2

32期 陶芸 小林 和美



西国三十三観音霊場納経帳

四国霊場八十八か所奉納経帳

坂東三十三観音霊場納経帳

28期 地域 伊串 利彦



秩父霊場三十四カ所納経帳

知多四国八十八か所奉納経帳

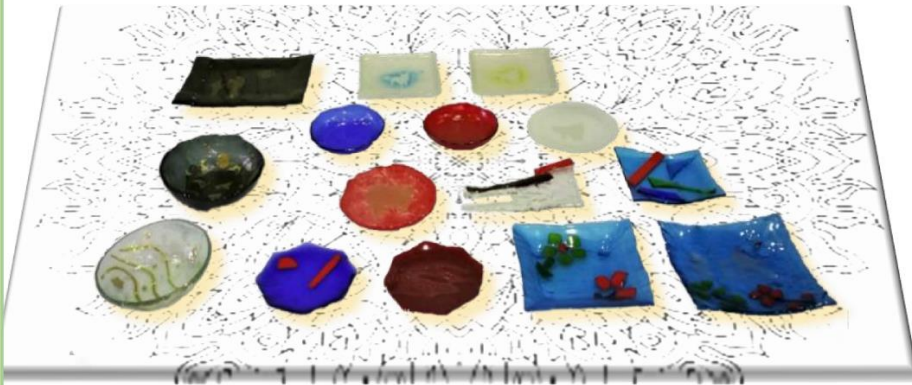
知多四国八十八か所奉納経帳

(開創二百十年記念)

28期 地域 伊串 利彦







クリスタルガラスの皿  
26期 国際 佐々野富美子



シフォンケーキ  
29期 生活A 小池 妙子



花1組 (5点)  
31期 陶芸 梶原 典子



鵜飼舟  
24期 健康 尾崎 雅子



十三仏写仏  
30期 国際B 寺田 美代子



八角兜朱色鎧  
30期 文化A 山本 進太郎



帽子掛け  
小鳥のさえずり



掛物  
幾何学模様



整理筆筒  
古典模様



21期 園芸 松村 紀子



着物リメイク3点  
25期 生活B 小山田 節子



## 初めての熱田生涯学習祭り

熱田鯨城会に入って半年経ちました。  
今回は生涯学習まつりの鯨城会ブースに、作品を出せということで急遽パソコンに入っていた写真を2枚、A3に引き伸ばして出品しました。



といっても展示会への出品は初めてなので戸惑うばかりで、特に引き伸ばしは初めての経験でした。

写真屋さんに頼むとかなり高価なので、友人のアドバイスもあってネット業者に依頼しました。

ネットでデータを送るとその日のうちに作業して発送してくれるので大変便利でした。しかも、2枚頼んでもプリント代より送料が高いほどで思ったより割安に出来ました。

額もネットで適当に注文し、とにかく期限までに間に合わせる事ができました。無事終了できたので良かったというのが実感です。

6日は終日会場でお手伝いしました。

仕事はお客さまが彩色した絵馬や土鈴に、クリアラッカーを吹き付けて乾燥させる作業です。

丁寧に描かれた絵や文字に最後のお化粧をするというわけです。昨年に比べると若干お客さまが少なかったようですが、なにぶん素人なので塗膜が薄すぎたり、液ダレが出たりとそれなりに苦心しました。

皆さんのお助けをいただき何とかお手伝いが出来ました。

あと一年元気を維持し、来年もまた出品もお手伝いもできればと願っています。



32期 環境 伊藤 明





## 熱田区区民まつり

10月13日に熱田区区民まつりが名古屋国際会議場で実施されました。

数十年に一度の大型台風が週末にくるということで、実施が危ぶまれましたが、13日の当日はとてもいい天気になり、実施することができました。ただ、台風が過ぎ去ったとはいえ、朝から風が強くて、テントを張ることができず、イベントホール内の、にぎやかゾーンのみで行われました。



鯉城会では、スタンプラリー受付と、にぎやかゾーン、キッズゾーン、オアシスゾーンのごみステーションで分別指導の担当でしたが、3か所に分かれてやる予定が、縮小されてにぎやかゾーンのみとなりました。例年ゴミステーションでは、たくさんのゴミが集まり、何度もビニール袋を入れ替える作業をしたそうですが、今回はオアシスゾーンで予定されていた、「食べる・買う」のブースがなかったため、食べ物のゴミもあまりありませんでした。

カゴの前には、可燃ごみ、プラスチックごみ、不燃ごみ、ペットボトル、と紙が貼ってありましたが、小さな子供さんがゴミを片手に、首をひねってどこかなあ・・・と困っている様子がとても可愛く、「このゴミはここに入れてね。」という、喜んで入れてくれました。

字は読めないけど、分別して入れるということは分かっているようで、うれしくなりました。

毎年楽しみに来ている人も多く、「外でやれたらよかったのにねえ〜」とか、熱田図書館から出されているリサイクル本を10冊持って、「これが欲しくて今年も来ました」という人や、チアダンスを踊る船方学区の「キッズチアスマイル」のかわいらしい踊りや、踊っている子供さんたちをカメラに納めているお父さんお母さんの笑顔も素敵でした。

キッズゾーンではお絵かきバスは実施されていて、子供さんたちは先着100名ということで朝早くから並んでいました。自分が書いた絵を町中で見ることができたら楽しいでしょうね。



(編集部)

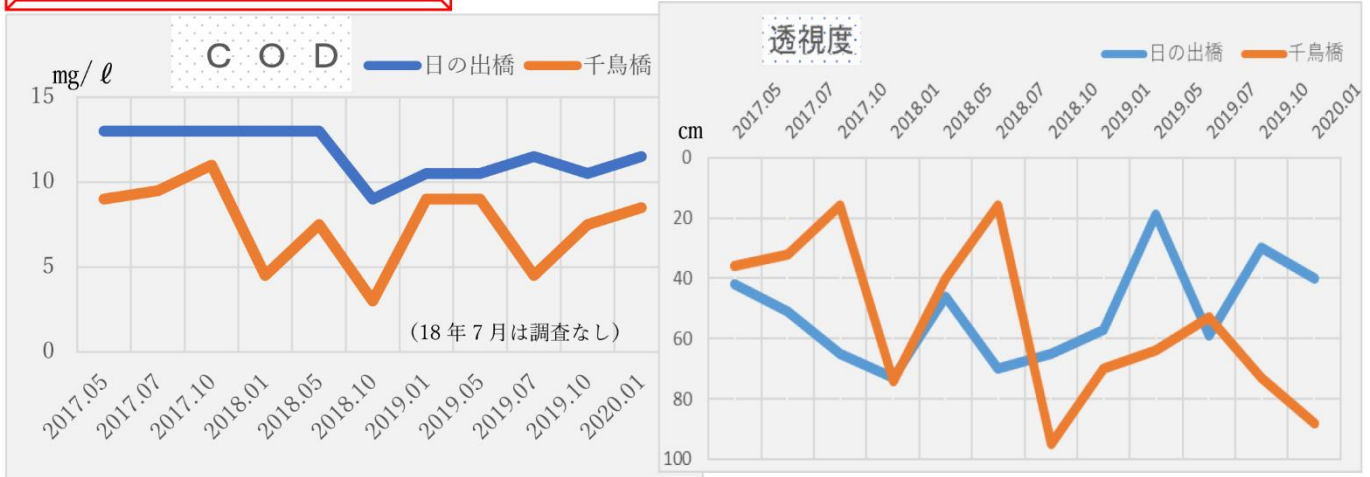




# 堀川（名古屋港）の水質向上を目指して

熱田鯉城会は、平成 29 年度より、3 年間、名古屋市水質環境目標値市民モニタリングに参加して、熱田区内の新堀川の日の出橋と、天白川下流の千鳥橋（名古屋港）の 2 か所の水質を調査してきました。その結果の一部をまとめたものが下の「COD」[透視度] グラフです。

## ① 3 年間の調査を終えて



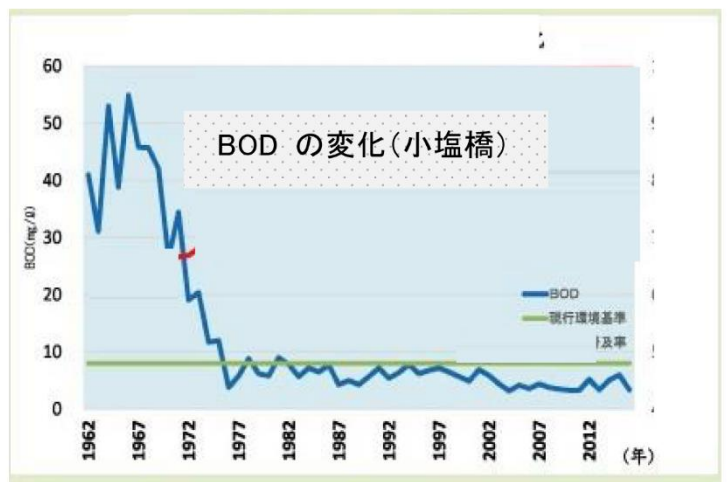
このページ内の 3 つのグラフは、いずれも下の方になれば水質が良くなったことを示すものです。

残念ながら、「上のデータだけからは、3 年間で水質が良くなった」とは断定はできません。

しかし、この 3 年間に、ヘドロが除去されるなど様々な取り組みがなされております。それらの効果が今後明らかになることを期待しております。

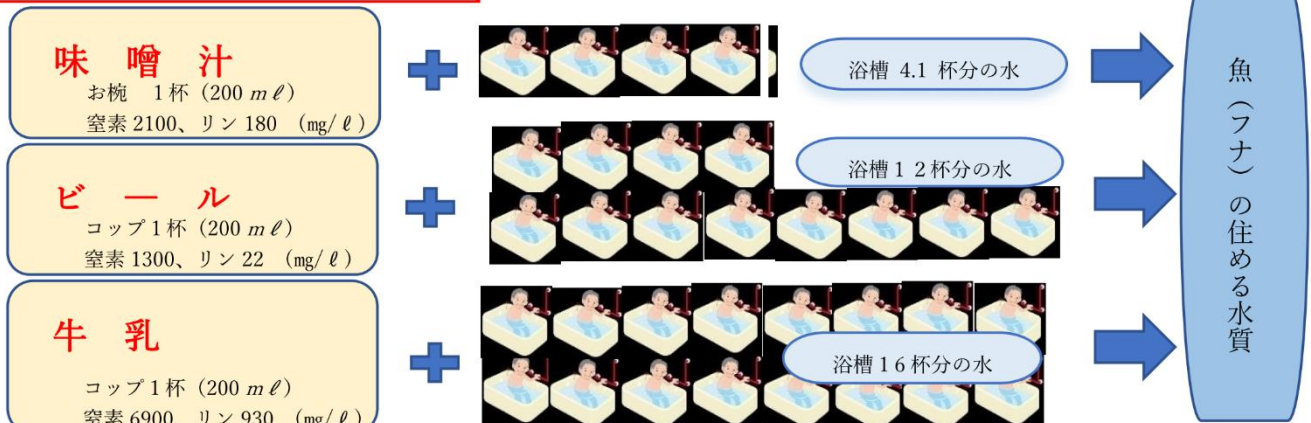
一方で、右の BOD のグラフから高度経済成長した 1970 年ころと現代を比較すれば、水質が良くなっていることは明らかです。

さらに住みよい環境を目指して私たちに今できることは何かを、下の資料などを参考に考えていきましょう。



↑ 小塩橋は、堀川中流（名古屋城南）にかかる橋です。BOD とは生物化学的酸素要求量を示しています。戦後はどぶ川のように悪臭を放った堀川も 1980 年以降 **環境基準**（緑色の線）が守られていることが分かります。（堀川 1000 人調査隊資料より）

## ② きれいな水質を維持するために



愛知県環境部「生活排水を考える」より



### ③ 名古屋市の取り組みを紹介します

堀川の水質や環境の改善に向けた様々な取り組みが展開されています。

#### 名古屋市の取り組み

##### 堆積したヘドロの除去



##### 下水処理施設の高度化



##### 合流式下水道の改善 (地下に雨水滞水池を設置)



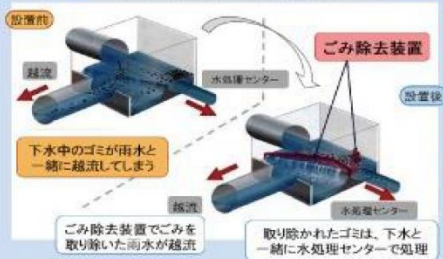
##### 機械での浮遊ゴミの回収



##### 船での浮遊ゴミの回収



##### 合流式下水道の改善 (ゴミ除去装置の設置)



##### 瀬・淵の設置



##### 地下水の活用



名古屋市緑政土木局河川計画課 作成資料より

2018年(平成30年)8月21日(火曜日)

## 新堀川上流 ヘドロ撤去へ



ヘドロの撤去が行われる新堀川の最上流部(中央が水処理センター)

### 悪臭対策効果検証

名古屋市は今年から、川沿いの住民らから悪臭の苦情が多い市内を流れる新堀川(延長6キロ)のヘドロの撤去を進めている。同川は明治時代に運河として掘られ、同市南区明治で堀川に合流している。現在は水処理センター

今年初めに、下流部約500メートル、川底をさらう浚渫が治水目的以外では初めて行われた。9月初旬からは、同市堀留水処理センター(中区の手前から立石橋(熱田区)付近までの上流部約2.6キロ、ヘドロの量約1万5000立方メートルを、台船に載せたショベルで浚渫する。

新堀川のヘドロの撤去を要望してきた市民団体「堀川1000人調査隊2010」の服部宏・事務局長は「市民による定点観測のデータなどを収集し、水質の改善や悪臭低下などの効果を調べたい」と話している。

### ヘドロの浚渫

←【読売新聞(2018年8月21日)および堀川1000人調査隊2010 HPより】

2018年に行われた新堀川の浚渫が完了し、悪臭を放つ「ヘドロ」が除去されました。

一方、堀川では、平成6年より河口から順に整備が進められ、現在は尾頭橋付近まで整備完了しています。引き続き上流に向けて護岸の補強工事とともにヘドロ浚渫が予定されています。

(編集部)



## 木曾川鵜飼い

令和元年9月10日(火)、中学校区合同行事で「木曾川鵜飼い」に行ってきました。

7月の役員会で地域の幹事さんと相談し、“暑い時期でも、少し涼しい場所で、楽しい催しを検討することとなりました。” A幹事さんから、名古屋鉄道主催の、全国的にも珍しい「木曾川の昼鵜飼い」の提案が有り、9月実施に決まりました。

当日の参加者20名。心配された、台風の影響を受ける事なく、行事には申し分のない好天日となりました。

朝10時15分名鉄金山駅集合、一人の遅刻も無く、予定列車に乗り、乗り換え無く、犬山遊園駅に到着。出船には少し時間も有り、休憩室で歓談し、12時少し前に乗船。船の中では、他のお客さんも6~7名みえましたが、熱田鯨城会の貸切でした。



早速に昼食タイムとなり、二段重ねの折りは、蓋を開けてびっくりの内容で、名古屋弁でおおごっつおうのお料理でした。持ち込んだお酒で乾杯お腹も、心も大満足でした。

ひと心地着いたところで漸く、船がどこを走っているのか気づきました。

遠くには、紅葉寺で有名な、寂光院の本堂。名古屋市の木曾川第二取水口。8月末で閉館した名鉄犬山ホテル。その隣には、現在修復中の犬山城と、川面から見る景色は、陸から見るのと違い、

すばらしいパノラマの景観を堪能できました。

1時間ほどで、トイレ休憩のため下船。

次は鵜匠のおもてなしで、鵜匠の衣装、鵜船、鵜の扱い方説明、鮎の取り方の説明、夜におこなう鮎漁の解説をして頂きました。今日の昼鵜飼いで、色々な説明を聞くことが出来て、良かったです。

再び乗船し、今度は、上流から下流に向かって船を流しながら、鵜匠が10羽の鵜を操り、実際の漁を見せてくれました。夜では、篝火に驚いて逃げる、鮎を鵜が捕まえるのですが、昼鵜飼いでは、見学船の船頭さんが、鵜に向かっておとりの鮎を投げ、勢いの良い先頭の鵜がそれを、飲み込むという実演で、暗闇で全く見えない鵜飼いを、白日の川面で、楽しく見せて頂きました。



最後は、鵜に4匹の鮎を飲ませ、それを吐き出させる実演が有りました。

(元サラリーマンの私には、せつせと、給料を家に運び、それをお家で、吐き出す世のサラリーマンの、せつない人生が想像されました)。

鵜匠曰く、鵜は川に泳いでいる魚なら何でも上手く獲るとの事、だが、その魚とり名人(鳥)の鵜でも難儀する魚がいると

の事その答えは鵜が難儀する魚、「うなぎ」でした。

下船後は、近くの喫茶店でお茶タイム。

鵜飼談義に、花が咲きました。

犬山遊園駅までは、まだ暑い日差しが有りましたが、涼しい快適な列車で帰路に着きました。

(中学校区世話役代表)





## こころの絆創膏キャンペーン

9月10日に金山総合駅連絡橋で「心の絆創膏キャンペーン」が実施されました。このキャンペーンは毎年9月と3月に実施されているもので、悩みを抱えた人の「心の傷（悩み）が小さいうちに人と人との絆で手当したい」という想いをこめて実施されています。

熱田鯨城会からは9人が参加し、港鯨城会、昭和鯨城会の人たちと一緒に、携帯用の絆創膏『こころの絆創膏』を、手渡しで配りました。

朝の通勤、通学で慌ただしい中、「おはようございます。名古屋市こころの絆創膏キャンペーンです」、「名古屋市のこころの絆創膏をお配りしています」と声掛けするつもりが、なかなか声掛けも難しく、「おはようございます」、「名古屋市のキャンペーンです」・・・で、終わってしまいました。各自100セット用意されていた絆創膏も20分足らずで配り終わりました。少しでも悩んでいる人の心に届けばいいなあと思っています。



(編集部)

## 鶴舞公園クリーンキャンペーンに参加して

10月とは言えまだまだ暑さの続く中、10月5日の鶴舞公園クリーンキャンペーンに参加してきました。

熱田鯨城会の社会奉仕委員の梶原さん、副会長の九澤さんはじめ諸先輩方に交じり32期の熱田鯨城会のメンバーとして少しでもお役に立てるようごみ拾いに励みました。

又今年も熱田区在住の現役鯨城生と共に清掃作業に当たることになり彼らとの初めての共同作業にどことなく懐かしさを感じることができました。

只、皆様も良くご存知の通り公園の利用者のマナーが良いのか思ったよりゴミが少なく少々気落ちした面も拭い切れません。

それでも参加された方々は少しでも公園をきれいにしたいという思いで暑い中一生懸命ゴミを探し、ごみ袋が一杯になるまで頑張り沢山のごみが集まりうれしい思いです。

国の登録記念物にも登録され、歴史が有り名古屋の誇りでも有る鶴舞公園をごみのないきれいな公園として保つ為には意識向上の上でもこのクリーンキャンペーンはこれからも決して無くすことなく継続してほしいものだと感じました。

私も来年機会があれば是非参加をしたいと思えます。

このクリーンキャンペーンに参加されました熱田鯨城会のメンバーの皆様暑い中大変お疲れさまでした。

32期 地域B 橋本 芳樹





## 第18回 鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会の報告

熱田鯨城会GG同好会 櫻井 健

第18回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会が、9月25日(火)秋晴れに恵まれ絶好のグラウンドコンディションの下、庄内緑地・陸上競技場で行われました。

交歓会は、個人戦成績表彰、各区上位3名の合計打数による区対抗戦表彰が行われた。

アトラクションとして16区会長によるニアピン競技が行われた。

交歓会参加者は約240名が4ゾーンに分かれて競技を行った。

当GG同好会からは8名が参加し、日頃の練習成果を発揮すべく、プレーした結果残念ながら入賞できなかった。

アトラクション 16区会長によるニアピン競技で当会会長寺田美代子さんが優勝された。GG交歓会終了後金山に場所を移し反省会を兼ねて親睦会を開催し、プレーで良かった点失敗した点など話題にして楽しい時間を過ごした。

交歓会に応援で参加して下さいました方ありがとうございました。

熱田鯨城会GG同好会では会員の募集をしています。

第19回交歓会に参加して下さい。

連絡先 櫻井健 TEL052-671-2782 まで連絡下さい。



### 2020年4月から9月の練習予定日は

4月	6日(月)	20日(月)	7月	6日(月)	—
5月	7日(木)	20日(水)	8月	—	—
6月	8日(月)	22日(月)	9月	7日(月)	18日(金)



# 令和元年度鯉城会公開講座

令和元年 10 月 24 日（木）鯉城ホールにて

## 講演：一休と尺八

尺八・詩吟・琵琶・琴で一休を語る

尺八と語り： 牧原 一路      詩吟と語り： 沢田千鶴香  
琵琶       ： 糸井 藍水        琴       ： 林 鈴 花

糸井さんの語りからはじまり、3人の琵琶、尺八、琴の演奏、詩吟へと続きました。一休は尺八大好き人間だったとのこと。あるとき、虚無僧となって尺八を吹いていると、山伏に会う。一休どちらへと、問われると「風の吹くまま・・・」山伏が「風など吹いていない。風が吹いていない時はどうする」それに答えて「風が吹かねば、吹いていくわい・・・」と、尺八を吹いて通り過ぎたとのこと。そこで一路さんが一休の作った曲を尺八で奏でる。



演奏ののち、一休の生涯が語られました。一休は 1394 年 1 月 1 日の生まれ、父は第 100 代後小松天皇で、一休は 101 代目の天皇になれる人であった。しかし母が楠木の血筋ということで天皇の命を狙っていると思われ、幕府の監視下に置かれ、5 歳の時、安国寺に預けられた。

安国寺では「周建」とよばれ、頭が良く経典も中国の古典も読破し、13 歳の時には、長門春草という漢詩を作った。これは後小松天皇に捨てられた母の悲しみを詠んだ詩であった。

一休のとんち話は大方、江戸時代の創作であるが、「この橋（端）渡らず」の話は、一休の北にも南にも、明にも暗にもとらわれない生き方を示した寓話であった。

16 歳の時、出世は家柄や財力次第という現実に失望し、安国寺を出て托鉢のみで生きるという厳しい修行を 4 年続ける。しかし将来に絶望した一休は自殺しようとするが、思いとどまる。それは、一休の母の手紙に、「自ら仏性を磨いて、住職にならなくても、俗人のままでよいではないか」というのがあったからであり、その手紙により、一休は生涯、肩書も栄誉も求めず、一托鉢僧として生きたのである。

24 歳の時、琵琶法師がやってきて、「平家」を語る。その祇王の段を聞き、一休は悟ったという。そしてここで一休の名を授かったとされている。「一休」とは「一休み」ではなく、「一切のものをやめる=解き放つ」という意味が込められていると思われる。

私たちが一休と言って思い出すのはアニメの可愛らしいお坊さんですが、アニメの歌にもあるように、



こころは優しく 一級品 おつむはクリクリだよ 一級品  
お目めは可愛く 一級品、けどお顔は残念だよ 三級品  
とのこと。

一休の晩年は「破戒僧」となり、世間の常識や慣習にとらわれない、こだわらない、煩惱や悩みを突き抜けた自由な境地に生きることでした。そして老いらくの恋・・・（ちょっぴり、イメージがくずれるかも）

一路さんの巧みな話術、語り、そして素晴らしい尺八の演奏。

琵琶、琴、詩吟どれも素晴らしく、惹き込まれ、あっという間の 1 時間半でした。

（編集部）



## 「第3回ボッチャ交流会」

障害の有無、性別、年齢を問わず誰もが楽しめるスポーツとして、最近、各地で人気が高まっている「ボッチャ」。今年も熱田区社会福祉協議会等の主催で、～ボッチャで、つながろう・楽しもう～をテーマに、10月19日(土)、「第3回ボッチャ交流会」が熱田区在宅サービスセンターで開催され、ボランティア・施設関係者・サロン関係者70名が集まり、熱田鯉城会からも16名の精鋭が参加いたしました。



ロコモ体操

交流会は先ずロコモ大使の指導によるロコモ体操によって準備運動を行い、Aコート、Bコートに分かれてゲームがなされ、「ボッチャはシンプルだけど奥が非常に深くて楽しい」という数多くの参加者の感想の下、終始、大熱戦が繰り広げられました。

最後に熱田鯉城会から優勝チーム(稲生雅子さん)、準優勝チーム(伊藤正人さん、九澤康雄さん)、三位チーム(小山田節子さん)、ひまわり賞(和谷光大さん)が表彰され賞状・記念品を授与され、

ボッチャを通じた交流イベントは手応えを実感する大成功でした。

(編集部)



ひまわり賞



優勝

三位

準優勝

### “ボッチャ始めまして”の3人組で優勝

17のグループに分かれてのトーナメント戦。  
私は、孫のような若い男性と薬剤師(男性)との“ボッチャ始めまして”の3人組で試合開始。  
1回戦から若い彼の始めの1打が上手く決まって勝ち進み、ナント、びっくり！優勝してしまったのです。バンザイ“運が良かったね” “ハイその通りです”それでも、試合の後のビールと味噌カツの美味しかったこと！！

楽しい時間を有り難うございました。お骨折りくださったスタッフの皆さまに心から感謝です。お疲れさまでした。

26期 文化B 稲生 雅子



# 鯨城16区フェスティバル

## 「第2回16区フェスティバル」

32期 国際A 佐久間 眞

熱田鯨城会、堂々の優勝！を飾った「第2回16区フェスティバル」は、令和元年11月20日に稲永スポーツセンターで開催されました。

競技種目は4つでしたが、最初の「チョコちゃんに叱られない「〇Xクイズ」では、10数問の問題をクリアし、我が熱田鯨城会が2位に圧倒的な差をつけて第1位となり、幸先の良いスタートを切ったのでした。

その後の2種目も上位の成績で得点を積み上げ、最後の競技種目「背筋伸ばして「玉入れだ！」では、僅か玉の数1つではありましたが、西区、中川区、守山区を抑えて、第2組の第1位となり、その結果、総合優勝を勝ち取りました。



ちなみに第1組に登場した南区は、実に36個という成績にもかかわらず、37個の成績を上げたチームがいたため第2位に甘んじました。我がチームが第2組で本当に良かったと、密かに「くじ運」に感謝した次第です。私はフェスティバルサポーター（競技担当）であったため、表彰台に登る3名の会長の背中を見る位置におりましたので、会長の喜びの表情を窺うことは出来ませんでした。

したが、会長から16区フェス委員の九澤さん（音響担当）、同サポーターの山本さん（競技担当）と私の、3人のフェススタッフに対する感謝の言葉を拝聴して、これまでの準備作業に携わってきたことが報われた気がしました。熱田鯨城会としては、その「知力」と「チームワーク」と「運」を結集しての最高の結果となりました。この喜びを共に分かち合いましょう！





## 番割観音巡り

ハイキング同好会 阿知波健雄

令和元年10月23日、熱田区～中川区～港区に跨る、番割観音巡り前半の部を開催しました。熱田区一番町白鳥橋から西100M程の一番割観音に17名の会員が集まり、9時に巡礼出発。

### 番割観音

熱田新田を干拓した際に工事の無事を祈り、番割と呼ばれた区画ごとに、西国三十三観音を模して33ヶ所に観音堂を祀ったもので、現在も複数の観音を1ヶ所に集めたりして受け継がれています。

二番・三番割観音は熱田社の隣の慈教寺内にあり、お参りはできませんでした。

四番・五番割観音は、地下鉄六番町駅北口東100M程の所にあり、ここでじっくりと観音堂の中を見学できました。

六番・七番割観音は六番町交差点の北西、東海道新幹線の下、八番・九番割観音は中川区との境に有り、堂前には昔の道標があります。熱田区から中川区に入りました。

ここから百曲街道に入ります。多くの番割観音堂が百曲街道(旧道)沿いに配されているようです。



一番割観音堂



四五番割観音堂の中

### 百曲街道

江戸初期、尾張藩主・徳川義直の命により、堀川庄内川の間海岸線約4平方キロメートルを干拓し、熱田新田が開かれました。百曲街道は、新田の北側の干拓堤防に沿って自然にできた街で、くねくねと曲がっていたことからその名で呼ばれるようになりました。

江戸末期から明治期には、名古屋の城下町と西南部をつなぐ産業道路の役割を果たしました。

四五番割観音堂



十番・十一番割観音の付近には土蔵、黒壁に昔の街道の面影がありました。

十二番・十三番割観音は、中川運河を渡り、南進し東海通の近くまで行きます。

この近辺で難工事の潮止工事が有り、この地に祀られたとの事でした。今度は北西に向かい、ヤマダ電機の少し北にある天年寺へ、十四番・十五番・十六番割観音が祀られています。

十七番割観音は直ぐ近くにありました。太平通を横断し、十八番・十九番割観音へ、本日ゴールの札所をお参りしました。6キロ程の行程でしたが、適度にお腹も空き、近くの回転寿司へ、美味しいお昼を頂きました。



百曲がり街道の面影が残る道



当日の参加者





二十一・二十二・二十三番割観音堂

11月27日9時半、中島駅バス停に集合し、番割観音巡り後半の部を14名の参加でスタートしました。当日は雨の予想でしたが、幸い降られる事は有りませんでした。最初はあおなみ線東の二十番割観音、街道沿いに進み、二十一・二十二・二十三番割観音と、三観音が祀られていました。

空雲寺・寛文元（1661）年創建。新田開発の功労者であった鬼頭景義が開いたと伝えられており、境内には延宝4（1676）年建立の景義の墓碑があります。本堂の前で堂々たる姿でそびえるクロマツも必見。樹齢は推定350年とされ、太い幹と横方向に広がる力強い枝に長い歴史を感じることができます。



荒子川を渡り、空雲寺をお参りました。次は地蔵院に祀られてある、二十五番割観音を参りました。地蔵堂は有りましたが、地蔵院の本堂はなぜか有りませんでした。街道沿いに歩を進め、二十六・二十七・二十八番割観音に到着、ここも三観音が祀られていました。小碓第三公園で休憩の後、二十四番割観音へ、二十五～二十八番割観音より、西に有ることから、正規の場所からこの地に移転したと思われる。

明正一丁目にある二十九・三十・三十一・三十二番割観音は、同一場所に4観音が祀られており、移転を余儀なくされた、往時の経緯が偲ばれました。ここから近くの白山社へ、この地は前田氏の東起城跡、尾張徳川藩徳川義直が鷹狩りをした時、休憩をした場所との事でしたが、詳しい案内書きは有りませんでした。



二十九・三十・三十一・三十二番割観音堂



三十三番割観音堂

ゴールの三十三番割観音を目指し、庄内川に掛かる正徳橋を渡り、下之一色の町に入りました。そこには、かつての漁港の施設が廃墟となって並んでいました。その一角に大正時代の建物が、名古屋市登録地域建造物資産の新元湯がたっていました。最盛期には小さな下之一色の町に8件もの銭湯があったそうです。行く手の左には、大正から昭和にかけて、名古屋の台所を支えた、下之一色魚市場の建物（現在営業は休止）が見え、いよいよゴールのみよどめ観音（三十三番割観音堂）に到着、結願を果たしました。

みよどめ（湊止め）・・・干拓工事の最後の堤防の締め切りを言う

「番割観音巡り」、参加者の中には、一度歩きたいと思ってみえた方も多く、良い企画でした。今後、市内には回っていない旧跡も多く、また良いコースを計画します。



下之一色魚市場



新元湯



## 第8回堀川清掃大作戦

11月2日(土) 第8回堀川清掃大作戦が快晴の中行われました。

「鯉城・堀川と生活を考える会」を中心に「鯉城会」、「学生会」合同の参加でした。

堀川最上流部の庄内川元杵樋門から、最下流の港新橋付近と堀川全域、新堀川一部を11拠に分かれて実施されました。

毎年、熱田鯉城会は第6拠点の2班として、白鳥橋から南へ大瀬子橋まで左岸、右岸を分担します。普段は通らない堀川沿いを火バサミとゴミ袋を持ち、ゴミ拾いに歩き出しました。

いつもの事ですがゴミが少ない分、景色をみながら口数の方が多くなっていました。魚問屋モニュメントも見ることができました。

「塵も積もればなんとやら」で、皆で少しでもゴミを拾えば、結構集まる物だと感心しました。

無事終わることが出来ました。有難うございました。



(編集部)

## 福祉団体へ寄付金・雑巾・タオル寄贈

12月6日(金)、10月におこなわれた「熱田生涯学習まつり」で実施した「土鈴・絵馬の絵付け」売上金・寄付金そして会員の皆様からご寄付いただきました雑巾・タオル等を会員代表として役員5名で、「熱田社会福祉協議会」名内丈資事務局長に寄付金2万円、雑巾55枚、タオル115枚を寄贈しました。

当日は「あつた・みなとホームニュース」社、大橋編集長の取材があり、年明けに同紙に掲載されました。



事務局長始め職員の皆様から、毎年の寄贈に感謝のお言葉をいただきました。会員の皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

(編集部)

## 白鳥庭園ボランティアガイド募集

敷地面積 3.7ヘクタール（1万1千坪）という東海地方最大級の池泉回遊式日本庭園の白鳥庭園で、四季折々の草花などを楽しみながら、健康のためボランティア活動を楽しみませんか。

活動は、毎週土曜日に実施しているガイドツアーや予約によるスポットガイドツアーで、庭園の見所、歴史や季節ごとの花や鳥などを案内するものです。

関心のある方、ご連絡ください。



世話人 18期 地域 加藤忠男  
電話 052-652-1902



## 大宝学区自主クリーンキャンペーン

12月7日(日) 午前10時西町公園に集合。天気は曇。  
少々肌寒い中、熱田区長、学区連絡協議会長の挨拶で始まり、熱田推進室、保健センター、環境事業所、市議員、学区の皆さん、熱田鯉城会 28名で、西町、日比野、西郊通りと2組に分かれて清掃しました。

生垣の中にも、ペットボトルやゴミがあり、皆で引っ張り上げていました。1時間位で大宝コミセンに着き、無事終了。

大宝コミセンで温かい豚汁とおにぎりをいただきありがとうございました。  
皆様、本当にお疲れ様でした。



(編集部)





## 白鳥庭園を歩く

熱田区民はじめ市民の憩いの場となっている白鳥庭園は、1989年、名古屋市制100周年を記念して開催された「世界デザイン博覧会」で一部が披露された後、再び整備を行い、名古屋を中心とした中部地方（東海3県）の地形をモチーフに美しい日本庭園に作り上げられ、敷地面積3.7ヘクタール（1万1千坪）東海地方屈指の池泉回遊式日本庭園として平成3年4月14日に開園しました。



築山を「御嶽山」そこからの水の流れを「木曾川」その流れが注ぎ込む池を「伊勢湾」に見立て、源流から大海までのさまざまな水の姿を表現した池泉回遊式日本庭園です。

正門を入るとまずは生垣の隙間から、国際会議場（世界デザイン博覧会の時に出来た建物）を望むことができる。この隙間を「のぞき」という、庭園の景色の一部をのぞかせることで、来園者の期待感を高める効果のある庭園施設の一つです。そしてウバメガシ、キンモクセイ、ハマヒサカキの生垣に誘導されるように庭園内へと進んでいきます。

園内には、8つのエリアがあり「白鳥八景」と呼ばれ、築山を御嶽山に見立て、御嶽山の伏流水が源流となる「滝の景」滝壺からの流れは溪谷へと一気に下っていき、水しぶきをあげながら巨石の間をぬって溪流となります。長い水の物語の始まりです。「溪流・溪谷の景」には寝覚めの床（長野県上松）をモチーフにした場所があります。



木曾三川、千本松原をみることができる「水郷の景」、そして水面が大きく広がる「海洋の景」へと続きます。「汐入の景」では汐（潮）の満ち引きを見ることができ、噴水は波しぶきです。「宮の渡しの景」は常夜灯や船着き場などをモチーフに東海道唯一の海路である七里の渡しの宿場町として賑わう「宮の宿」を表現した景色です。



この時期、宮の渡しの景からは白鳥庭園の冬の風物詩「雪吊り」を見ることができます。雪国では雪の重みで枝が折れないように上から縄をかけて枝を吊りますが、名古屋では雪の被害はないので、「飾り吊り」という装飾的な雪吊り方法が施されています。「里の景」ではシンボルツリーの「マメガキ」が迎えてくれます。

梅や桃などの花を楽しむことができる人里の風景です。「茶室の景」に建てられた清羽亭は数寄屋作りの造りで「庭屋一如（ていおくいちにょ）」で設計されており、外観は舞い降りた白鳥をイメージしています。茶室は5つあり、季節に応じて茶会が催されます。

園内には1年中木々、花が咲き乱れ、松をはじめ桜、ドウダンツツジ、紫陽花、水蓮、蓮、紅葉、椿、山茶花、水仙、梅等が楽しめます。

2010年に白鳥地区で開催された生物多様性条約世界会議COP10をきっかけに生物多様性に配慮した無農薬での庭園管理が行われています。

ゆっくりとお散歩がてら出かけてみては如何でしょうか？

ボランティアガイドさんについてまわってみると、「目から鱗」いつもと違った白鳥庭園に出会えるかもしれません。



(編集部)





編集後記

熱田鯨城会創立 30 周年記念行事、生涯学習祭り「趣味の作品展」等行事盛りだくさんの 40 号です。「30 周年を迎えての一言コメント」にご協力をいただいた皆様、「趣味の作品展」ではたくさんの方にご出品いただきありがとうございました。又、会場に行けなかった皆様も、会員様の力作をお楽しみください。

編集部

・発行責任者	寺田 美代子 (30 期)	・編集長	村瀬 順子 (31 期)	岡山 登美枝 (31 期)
・編集者	山本 進太郎 (30 期)	磯部 真弓 (30 期)	九澤 康雄 (31 期)	九澤 まち子 (31 期)
	梶原 典子 (31 期)	岡田 英世 (31 期)		
・相談役	玉利 繼男 (29 期)			
・顧問	阿知波 健雄 (27 期)	伊串 利彦 (28 期)		
・参与	下木 要人 (27 期)	松浦 啓一 (28 期)	伊藤 正 (29 期)	都筑 正実 (29 期)
	和谷 光大 (29 期)			

【発行日令和 2 年 3 月 1 日】

# 賀城園 GAJOUEN

料亭・結婚式場



- ・地下鉄をご利用の場合/にしたかから駅 1 番出口より南東へ徒歩 6 分
- ・名鉄をご利用の場合/金山総合駅・神宮前駅より車で 4 分
- ・JR ご利用の場合/熱田駅より北西へ徒歩 10 分

定休日： 毎週月曜日

〒456-0021 名古屋市熱田区夜寒町16番22号  
TEL / 052-682-3747 FAX / 052-682-6732

0120-82-3747  
<http://www.gajouen.co.jp>

発行 熱田鯨城会  
高年大学鯨城学園